

商品種別登録

商品マスタ、伝票入力で指定する商品種別を登録します。

Point

- ・ システム導入時より予め登録されている商品種別の削除は出来ません。名称変更のみ可能です。
- ・ 伝票の明細で指定する商品種別によって、入力項目が変わります。
- ・ 売上側(受注入力、売上入力など)では商品種別分類によってレンタル、販売などで動作が変わりますが仕入側(発注入力、仕入入力など)では全て「販売」と同様に動作します。
- ・ 会計オプションを利用しており、運用設定で「基本料の科目設定」を「する」に設定している場合は基本料が表示されます。
- ・ 基本料は削除できません。売上勘定科目、売上補助科目のみ指定できます。

a) 商品種別マスタの項目説明

削除	商品種別分類	内訳区分	コード	名称	略名	表示順	使用区分	登録日時	更新日
<input type="checkbox"/>	販売	販売	001	販売	販売	7	使用する	2008/05/27 11:12	2016/01/2
<input type="checkbox"/>	販売	運賃	002	運賃	運賃	8	使用する	2012/08/13 11:00	2016/01/2
<input type="checkbox"/>	販売	修理	003	修理	修理	9	使用する	2013/01/23 11:00	2016/01/2
<input type="checkbox"/>	販売	燃料	004	燃料	燃料	10	使用する	2013/01/23 11:00	2016/01/2
<input type="checkbox"/>	販売	その他	005	作業	作業	255	使用する	2013/01/23 11:00	2013/01/2
<input type="checkbox"/>	販売	販売	008	値引	値引	255	使用する	2013/09/11 15:42	2013/09/1
<input type="checkbox"/>	減損	販売	051	減損	減損	11	使用する	2008/05/27 11:42	2016/01/2
<input type="checkbox"/>	一括	汎用	101	一括	一括	5	使用する	2011/04/13 16:52	2016/01/2
<input type="checkbox"/>	日極一括	汎用	104	日極一括	日極一括	6	使用する	2014/05/28 11:52	2016/01/2
<input type="checkbox"/>	日極	汎用	111	日極	日極	1	使用する	2011/04/13 16:52	2014/05/2
<input type="checkbox"/>	日極	汎用	121	日極	日極	2	使用する	2016/01/26 18:52	2016/01/2

項目名称	説明	桁数	必須
商品種別分類	リストより選択して下さい。 選択した内容により、入力画面での動作が変わります。 登録後の変更はできません。	-	○
内訳区分	売上内訳表での割り振りを設定します。 売上内訳表では指定した内訳区分にしたがって、 振り分けられます。 但し、「レンタル」は同じ明細行に仕入先が指定さ れている場合、それぞれ「Wレンタル」に振分られます。	-	○
コード	商品種別のコードを指定します。 登録後の変更はできません。	半角英数3桁	○
名称	商品種別名を指定します。 現在のところ、使用される箇所はありません。	半角英数カナ20桁	○
略名	商品種別略名を指定します。 選択リストに表示される名称です。 各伝票類、帳票類に印字されます。	半角英数カナ8桁 全角文字4桁	○
表示順	リスト表示される順番を指定します。 同じ表示順を設定した場合、コード順で並びます。	0~255の範囲で指定	

項目名称	説明	桁数	必須
売上勘定科目 売上補助科目	会計ソフトとの仕訳連動ありの場合のみ表示されます。 指定すると売上傳区の貸方科目(貸方補助)に採用されます。 指定することで、種別ごとに科目を分けることができます。 指定しない場合は、仕訳設定の貸方科目が採用されます。	・弥生の場合 半角英数カナ24桁 全角12桁 ・奉行、大臣の場合 半角英数4桁	

b) 商品種別分類の説明

販売系

販売・・・ 消耗品、工賃など単純に販売して終わりの明細で指定します。
商品マスタの販売単価が採用されます。

整備・・・ 整備売上を計上する場合に指定します。
検収入力で、整備数を入力した場合、自動計上される売上明細では、コード「041」の整備が
使用されます。整備単価の登録があれば整備単価が、なければ商品の販売単価が採用されます。
売上入力で整備を選択した場合、商品の販売単価が採用されます。整備単価登録した
単価は採用されません。

減損・・・ 商品の破損を請求する場合に指定します。商品マスタの減損単価が採用されます。
検収入力で、減損数を入力した場合、自動計上される売上明細では、コード「051」の減損が
使用されます。

レンタル系

	採用単価	金額算出方法	請求期間
一括	一括単価	数量×単価	納入月のみ
日極一括	日単価	数量×単価×日数	納入月のみ
日極	日単価	数量×単価×日数	返却があるまで
月極	月単価	数量×単価×月数 端数日数がある場合、月数が切上されます	返却があるまで
月極日割	月単価	数量×単価÷30×日数	返却があるまで

- ・ 受注伝票でレンタルの種別を指定して出荷すると、商品の在庫は配達日で減少します。
検収入力(返却)すると、検収日で増加します。
- ・ 一括、日極一括は初月に1回だけ売上計上します。
- ・ 得意先の決算日で締切処理を行った後に、通常締日の継続処理を行った場合や、通常の月締範囲内で
検収入力(返却)した場合、「月極」の売上金額は0円で計上されます。(既に請求済みのため)
- ・ 受注入力で算出した金額と、実際に売上計上される金額は変わる場合があります。
これは、受注入力では金額を期間通しで算出するのに対し、売上では締日単位で金額の算出を
行うためです。

Point

- ・ 仕入側(発注入力、仕入入力)では仕入先マスタの販売単価種類で指定された単価が初期表示され
ます。仕入先マスタの販売単価種類の初期値は「標準仕入単価」です。
(運用設定や伝票機能で設定している場合、仕入先別の単価または最終仕入単価が商品マスタの
単価に優先されます。詳しくは商品登録または得意先・仕入先別商品単価登録のマニュアルを
参照して下さい。)